

ウランバートルホテル

Ulaanbaatar Hotel
(モンゴル国ウランバートル市)



外観

モンゴルのホテル大浴場紹介第3弾の今回は、ウランバートル中心部に位置する高級ホテル・ウランバートルホテルの大浴場である。ウランバートルホテルは、おそらくはモンゴル随一の五つ星ホテルだ。創業は1961年。建物は古いが、重厚かつ荘厳。いかにもソビエト風であるが、それはサービスが低くて快適ではないという意味ではなく、ソビエト時代の特権階級のみが利用を許されていたのではと思えるような、伝統と格式を備えている。

その大浴場は地下1階だ。地下1階には、大浴場の他にマッサージルーム、フィットネスルームもある。

大浴場を利用する場合の注意点としては、利用開始時刻をあらかじめ大浴場のフロントへ伝えておくことだ。出向いたらすぐに利用できるわけではないからだ。と言うのも、大浴場もサウナも常時は使用されておらず、冷え切っている。これを温めるのに1時間半はかかる。

また、サウナの中にはタオルが敷き詰められていない。サウナ用のバスタオルを自

室から持参することをお勧めする。さらに、体を洗うハンドタオル、体をふくバスタオルも自室から持参しよう。シャンプー類は用意されている。

それでは、早速フロントで受付を済ませて中へ入ろう。脱衣室には縦長のクローゼットが9個、体重計、鏡、長椅子がある。クローゼットには鍵が付いているもの、ついていないものがあるので、ついていないものを選ぼう。クローゼットの中にはつっかけが入っている。必要なら浴室やサウナの中で使用するとよい。

浴室はなぜか無駄に広い。日本の銭湯のような洗い場はないが、壁面にシングルレバー方式のシャワーヘッドが全部で6か所ある。その合間にシングルレバーの混合栓が3か所、左端に洗面台が1か所あるが、これらはいずれも立ったまま使用するためのもの。椅子もあるが、カランの前ではほとんど役に立たないのではないかな。

結局、昔ながらに浴槽から湯をくみ上げて、体を洗うことにする。洗面器はかなり大型なので、湯を目一杯入れるとずっしり重い。湯温はかなりぬるめ。40℃~42℃くらいである。モンゴルで大江戸銭湯のような熱い浴槽はいまだ体験していない。しかし、私はぬる湯が好みなので、ちょうど良い湯加減である。浴槽は15人程度が車座になれるような構造だ。浴槽周囲には、乗りあげて座り、体を冷やすことのできる場所もある。

サウナも定員は14~15人程度。室内温度は高くないが、体に負担にならない程度だ

と思う。60～70℃くらいだろうか。水風呂はそれほど冷たくはない。水風呂は定員 4 人程度。水風呂としてはかなり大きめだ。

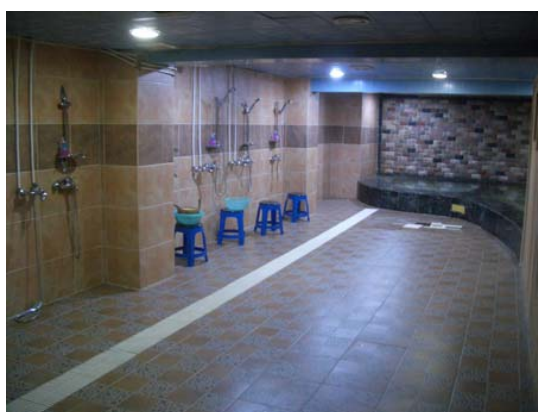
脱衣室を出て、フロントで自室番号を告げ、自室へ戻る。今日は狭いシャワーを使う必要がない。ありがたいことだ。やっぱり風呂はいい。風呂のない人生を歩んでいる人達は気の毒である。

日本から遠く離れたウランバートルで、快適な宿泊と同時に快適な風呂を味わいたければ、ホテル選びは十分な下調べをするべきであろう。当愛好会の他のページも参考にしてほしい。

- 名称：ウランバートルホテル
- 所在地：モンゴル国ウランバートル市スフバートル広場 14 (Sukhbaatar Square 14, Ulaanbaatar 210645, Mongolia)
- URL：<http://www.ubhotel.mn>
- 営業時間：9：00～21：00
- 定休日：なし
- 入浴料：宿泊客は 5,000Tg (1円=16Tg)
- 電話：+976-11-320620
- サウナ：あり
- サウナ内のテレビ：なし
- 取材：銭湯愛好会・東京支部
- 取材日：2011年10月31日(月)



浴槽



洗い場



サウナ